

中央町三丁目地区は、宇部市の中心市街地の西側にある面積約1.2haの地区です。古くから商業系を中心とした土地利用がされてきましたが、近年のモータリゼーションの進展や郊外型大型ショッピングセンターの立地等が生み出した商業環境等の変化により、空洞化が進んでいました。また、本地区は戦災を逃れた経緯等から依然として都市基盤施設が不十分であり、道路幅員が狭く、老朽化した建物も密集しており、良好な居住環境と賑わいの創出並びに防災面の向上を図ることが本地区の課題となっていました。

このため、平成9年に官民協働によるまちづくりを目指し、地元により自治会の代表者や商業関係者からなる「宇部中央地区再開発推進協議会」が設立され、その後、同団体によりワークショップが開催される中で事業実施

に向けた取り組みと街並みの景観形成に資する建築デザイン等のガイドラインが検討されました。平成13年の市施行による土地区画整理事業の開始後もワークショップは続けられ、複数の権利者による建物の共同化を図るとともに、「屋根の形状の統一」、「外壁の色をアースカラーとする」、「建物1階部分のセットバック」の3ヶ条を必須の約束事とした協調建替のための「街づくり協定」が作成され、民間による建物の更新は同協定に沿って行われました。平成16年度に地区の整備はほぼ終了し、定住人口が回復するとともに美しいまちなみが形成されました。

地区団体によるワークショップの様子



材料、勾配の統一された屋根の様子



外壁の色をアースカラーに統一

- ①山口県宇部市中央町3丁目
- ②・JR宇部線宇部新川駅から徒歩5分  
・山陽自動車道下関宇部線 宇部ICから約15分  
・山口宇部空港から車で約15分
- ③常盤公園、宗隣寺、渡辺翁記念会館
- ④地域住民によるしだれ桜・合歓の木の管理
- ⑤宇部市 都市開発部 まちづくり推進課  
電話番号 0836-34-8470

